

## 大分県信用組合「企業内大学(けんしん大学)」のご案内

**目的** 急速に変化する外部環境への適応力を養うために、大学、行政、産業支援機関及び各種専門家等の協力と連携のもとに企業内大学を設置し、「学びの場」「交流の場」を形成することで相互研鑽を図り、**価値共創**を通じて同友会会員並びに組合員の皆さまとともに地域経済の発展に資することを目的としております。

**授業科目** 医療・介護分野 農業分野 創業・経営革新分野 + マネジメント  
事業承継分野 観光振興分野 マーケティング IT経営 等

- ◎重点分野を中心に原則として1学期間で最大5種類10講座を予定しています。
- ◎各分野の専門家が講師を務めます。
- ◎バラエティーに富んだ授業を予定していますのでお気軽にご参加下さい。

**開催日** ◎第2学期 平成24年10月1日～平成25年3月31日  
※土曜日を中心に授業を開催していく予定です。

**受講対象者** 同友会会員・組合員の皆さま又は当組合職員

**会場** 大分県信用組合 本店5階大ホール  
(参加人数によっては会場が変更となることもございます。)

**定員** 50名(事前届出制)

**受講料** 受講料は **無料** です。

**申込方法** 最寄りの支店、もしくはけんしん中小企業支援センターに  
**FAX**、または**メール**にてお申込み下さい。

**授業のお知らせ** 各学期ごとに、随時配信していきます。  
大分県信用組合のホームページをご覧ください。  
<http://www.oita-kenshin.co.jp/>

**お問い合わせ先** 大分県信用組合(けんしん中小企業支援センター)  
〒870-0047 大分市中島西2丁目4番1号  
TEL(097)573-7297  
FAX(097)533-7151  
メールアドレス [kigyoo@oita-kenshin.co.jp](mailto:kigyoo@oita-kenshin.co.jp)



ふるさとへの思い発信



- 1 特集/TOP INTERVIEW  
株式会社 久保組  
豊後高田市観光まちづくり 株式会社  
宇佐パン粉 有限会社
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんからの「知っ得情報」

## 災害で発揮された地元力 見つめる未来のふるさと

誠実で柔和な人柄で人望の厚い久保幸宏社長



社員が商工会青年部で開発した「洞門バーガー」。竹炭入りの黒パンに耶馬溪黒豚100%、土日限定販売中



青の洞門近くにある本社事務所



久保組が施工した「総合運動公園（多目的広場）」

平成24年7月、2度に及ぶ未曾有の大洪水で甚大な被害を受けた九州北部。中でも映像で繰り返し映し出された大分が誇る景勝地「青の洞門」の光景に、心を痛めた方も多かったのではないのでしょうか。この時、地域の土木会社として核となり、迅速なライフラインの復旧に尽力したのが株式会社久保組です。

「地域のことは、地元の業者が一番よくわかる。大きな道路はもちろん、地域の方々が使う生活道路を早く開通させるため、業者の役割分担を決め、みんなが寝る間を惜しんで復旧に努めました」と語るのは久保幸宏社長。やっと回復した矢先に再び大水害に襲われても、社員が一丸となって乗り越えました。

昭和56年の創業以来、確かな土木

技術をもとに新しい土木技術に磨きをかけてきた久保組は、若い社員も多く活気にあふれています。土木工事を軸に、一般住宅のリフォーム事業や、体育館や工場などに最適な省エネ・低コストの無電極放電ランプを取り扱うECO事業を展開。公共工事が減少する中、人と自然が調和した環境づくりを目指し、地域で頑張ってきたからこそ、今回の災害にもいち早く対応することができました。

また、「地域の活性化に貢献したい」という思いから始まった農園事業では、そばや柚子を栽培しています。平成21年3月には、株式会社ケイズ・ファーム本耶馬に出資。久保社長が思い描くのは、地域の未来図です。

「農業の高齢化で、地域はますます過疎化が進む。新緑や紅葉の時期に多く訪れる観光客に、もっとこの地域の魅力を伝えていきたい」

その第一歩として、青の洞門近くに地元産にこだわったおみやげ販売所や柚子の加工見学ができる地域の情報発信拠点を作る準備を進めています。

地域の雇用を確保し、さらに活性化を願い精力的に動く久保社長の思いは、きっと地域の魅力をさらに輝かせることでしょう。

かつて豊後高田市の中心商店街は、国東半島の中心地として栄え、活気にあふれていました。しかし、時代の流れとともに空き店舗が増え衰退する一方。そこで、この「まち」の流れを変えたいと有志が集い、昭和30年代の「昭和の町」をテーマにまちづくりが始まりました。

平成13年、年間約2万人だった観光客は、平成14年の「駄菓子屋の夢博物館」のオープンをきっかけにさらに増え、平成15年には20万人もの人々が訪れるようになりました。しかし、増える観光客に、かさむ諸経費。豊後高田市は、持続可能なまちづくりを模索するため、平成16年3月に豊後高田「昭和の町」活性化基本計画、11月におまち再生計画（Bプラン）を策定しました。その中に盛り込まれていたのが、第3セクター方式によるまちづくり会社の設立です。平成17年11月に「豊後高田市観光まちづくり株式会社」を設立。当時、商工会議所副会頭を務めていた株式会社大興電設の野田洋二社長に白羽の矢が立ちました。

「まちづくり会社は、豊後高田市のいわばフロント。ここで収益を上げ、『昭和の町』の次の展開に投資する。そこから豊後高田市全体の観光や産業を支援しています」と語る野田社長。観光にマネジメントを取り入れたことにより、持続可能なサービスを安定

## 地域愛に根ざしたマネジメントで 実現する持続可能なまちづくり

豊後高田市同友会

【観光開発事業】

豊後高田市  
観光まちづくり株式会社  
代表取締役 野田 洋二氏

DATA

〒 豊後高田市新町989-1

☎ 0978-23-1860

🕒 8:30～17:30

📄 なし

📧 あり

<http://www.showanomachi.com/>

バイタリティあふれる野田社長のノウハウを学ぶため、市役所から職員が歴代派遣されている



供給でき、「豊後高田そば」の認定や宮町の活性化など様々なチャレンジに投資を集中し、次の展開を常に準備しています。平成23年12月現在の観光客は40万人にも上ります。

「『まちを残したい』という切実な思いは行政と民間、共通であった。この思いがまちづくり会社の設立につながり、先進的な取り組みが行えている」

と語る野田社長の原動力は昔も今も地域愛。

「地域経済の活性化には、定住人口の増加が不可欠であり、そのためには、引き続き、行政、民間の協力を得ながら、『新しい働き方（＝世帯で支え合う家計）』を提案し、楽しく暮らせるまちを実現する必要がある」と今後の豊後高田市の経済にも意欲的です。

地元の洞門元気クラブでジュニアサッカーを教えている久保幸宏社長

中津下毛同友会

【建設業】

株式会社 久保組  
代表取締役社長 久保 幸宏氏

DATA

〒 中津市本耶馬溪町跡田461-1

☎ 0979-52-2727

🕒 8:00～17:00

📄 土・日・祝日

📧 あり

<http://www.kubogumi.net/>



自分の思い出探しを楽しめる「駄菓子屋の夢博物館」

全国から数々のまちづくり表彰を受けている「昭和の町」のまちづくり



昭和の生活が甦る「昭和の夢町三丁目館」

懐かしくてやさしい気持ちになれる「昭和の絵本美術館」



「宇佐の町は、大いなる食の町、大いなる農村を目指したい」と岩井社長

## 地域の顔が見える 安心・安全の商品づくり

宇佐市同友会

[食品製造販売業]

宇佐パン粉 有限会社

代表取締役 岩井 正久氏

DATA

〒 宇佐市大字長洲927-4

☎ 0978-38-0274

🕒 8:00~17:00

🗓 日曜

📍 あり

<http://www.usapanko.jp/>

宇佐パン粉有限会社のもととなる岩井商店は、かつて筑豊炭鉱に坑木を納め、仕入れた石炭を地域の塩田等に販売する商売をしていました。時代の流れとともに、冷凍食品製造に事業転換したお得意先のニーズに応じて、昭和45年宇佐パン粉有限会社を設立。パン粉の製造販売を開始しました。

食生活の変化とともにパン粉の需要はさらに伸び、営業の拡販を図るため、昭和53年に関連会社としてスターフーズ株式会社を設立しました。さらにパン粉だけでなくピザの製造を開始し、平成元年ハラダフーズ株式会社を、平成7年には冷凍生地の開発のためサンアイフーズ株式会社を設立し、現在これら3つの関連会社を運営しています。

「いろんな商品を作っていますが、うちがこだわっているのは小麦粉で作れる商品です」と語る岩井正久社長。そこには、九州でも有数の穀倉地域である、宇佐市の田園風景への思いがありました。「地域で育てた小麦で、商品を作りたい」との強い気持ちがありましたが、現存の小麦はパン作りに適するものではありませんでした。そこで地元農事組合の協力を得て、パン作りに適する小麦作りの開発に乗り出しました。大分大学や大分県農林水産

研究指導センター、大分県信用組合融資部中小企業支援センターなどのサポートを受けた一連の取り組みは、農商工等連携事業の認定を受けています。土壌改良などを重ね、パン作りに適するたんぱく質の含有率が高い小麦の誕生までには、8年もの歳月がかかりました。地元産小麦で作ったパンは、県内での試験販売を開始し、確かな手ごたえを感じています。

「地元の子どもたちに、地元で取れた小麦でパンが作られていることを教えたい」と、子どもたちの笑顔を思い浮かべる岩井社長は、優しいまなざしです。小麦の種蒔きから収穫、パン作りを通じた“食育”によって、これからの宇佐を支える子どもたちに地元の誇りが芽生えていくことなのでしょう。

お客様の安心を第一に考え、様々な工夫を施した製造工場



大分大学工学部応用化学科の研究成果を活用して生まれた、付加価値の高い「ゆずパン」



宇佐の大地で生まれた小麦（ミナミノカオリ）で作った冷凍パン



株式会社 中村建材店  
代表取締役 中村 慎一郎さん

## 家づくりをもっと楽しむ 地元工務店とお客をつなぐ 場を作りたい。

株式会社中村建材店は、昭和41年祖父が建材店として創業し、私で3代目です。中村家としては、江戸時代から続く荒物と鉄鋼製品を扱う中村商店が兄弟会社としてあるので、歴史的に古いものがあります。

親の一所懸命働く姿を見て育ったので、いずれは家を継ぐという思いはありました。しかし、本当はまちづくりをしたくて、筑波大学で都市計画を学びました。将来を選択する際に、親が「自由にしなさい」と言ってくれていたのです。卒業後は社会勉強の為に、富士銀行（現みずほ銀行）に就職しました。

その後、6年間勤めた銀行を退職し、事業を継いで分かったことは、本当に

「会社」として表面しか見ていなかったんだというのが正直なところ。法人は世の中から必要とされ、社員がやろうと思えば継続的に生きていける組織です。自分は中村家の百何十年目を任されています。よく考えたら、自分が社長としての期間は20年ぐらいのものです。次の世代にどう引き継いでいくかが、一番大切なところだと思っています。

最近は若い施主さんを中心に、家を「買う」ものだと思っている方が多いようですが、家を「つくる」過程が一番楽しいのではないかと思います。私が地域の方々や地元の工務店さんにお手伝いしたいことは、施主さんと工務店さんが家を計画したり間取りを考えたり、家を作ることを楽しめる空間と時間づくりです。そのための場を作る準備を進めています。

# キラリ 新風力 New Wind & Fresh Power 爽風力 ふわり

## 何度訪れても心がやすらぐ おもてなしを目指しています。

中津のシンボル八面山の麓に、子どもの「金色温泉」があります。金色は地域名ですが、昔この地域では美味しいミカンがたくさん採れたそうです。そのミカンが金色に輝いて見えたことから、この地域を金色（かないろ）と呼ぶようになったと聞いています。ミカンと八面山が、私どものシンボルマークです。

温泉は、緑豊かな山の斜面に点在する露天風呂が9種類。八面山の大自然を一望でき、目にも鮮やかな新緑の季節をはじめ、色とりどりの紅葉など、四季を五感で感じながら温泉をお楽しみいただけます。アロマテラピートリートメントとボディケアマッサージも、女性に人気です。

「お宿こがね山荘」では宿泊者専用の「八面の湯」を備え、本館8室と

囲炉裏と内風呂を備えた離れを4室ご用意しています。田舎の家に遊びに行ったときに感じる古き良き時代の心地良さを、きっと感じていただけることでしょう。

お食事は、料理長が腕を振るう創作日本料理。豊前の海の幸をはじめ、耶馬溪の山の幸など、地元の食材にこだわった色とりどりの膳を、目と舌でお楽しみください。また、一年を通じて味わえる地元産のハモもおすすです。

ここは、周辺にお店がありません。あるのは、豊かな自然と静かな時間。リピーターの方も多く、インターネットでのご予約が増えています。適度な配慮を心がけ、初めて訪れてもどこか懐かしい気持ちになれる、何度訪れても心がやすらぐおもてなしを目指しています。

株式会社 こがね  
女将 大友 三津子さん

DATA

[旅館業]

株式会社 こがね

〒 中津市三光田口字金色584番地1

☎ 0979-26-8066

🕒 10:00~24:00

🗓 なし

📍 あり

<http://www.kanairo.co.jp/>



サービス業  
有限会社 セイユウ

## やさしくて居心地のいい 喜びのタネをまく



ハウスダストも除去する「スタイルフロア ララ」と、集めたホコリを吸い取る「ダストクリーナー」

昭和38年、小園正純会長には「これから貸ぞうさんの時代がくるかもしれない」というひらめきがありました。その時、水を使わずにホコリを取るという、それまでの掃除方法を一新する画期的な商品を紹介したダスキンが、この分野で特許を取っていました。そこで小園会長は九州でいち早く名乗りを上げ、ダスキンと昭和40年に正式にフランチャイズ契約。ダスキン創業者の鈴木精一氏との親交も深く、経営理念の“喜びのタネまき”という思想を今も受け継いでいます。

はじめは5つしかなかった商品も、様々なニーズに合わせて、事業所だけでなく家庭用にも広がり、モップ、マット、浄水器、空気清浄機等のレンタル、販売などを行っています。お客様と心で通じ合い、人と人とのつながりを大切にする思いが、お客様との変わらぬ絆を育てています。



〒中津市大字下池永931-8  
☎ 0979-22-2974  
🕒 8:30~17:30  
🗓 土(隔週)・日・祝日  
📍あり



石材加工業  
有限会社 吉本本家石材店

## 卓越した技術を磨き 石で文化を創造する



双葉山生誕100年記念碑

山口県周南市徳山の対岸にあたる宇佐市長洲地区は、昔から最高品質の御影石「徳山みかげ」を取り扱う石屋の多い地域でした。大正11年に創業した吉本本家石材店は、石橋や墓石など数多くの設計・施工実績を積み、技術を常に磨いています。

吉本正隆社長自身も、卓越した技能を持つ「現代の名工」です。社員にも日々の鍛錬を求め、各自が意欲的に県展覧やコンペに参加し、1級土木施工管理技師や1級技能士資格を取得しています。日本一の数を誇る院内の石橋補修工事では、より安全で強度を保つ工法を編み出し、特許を取得しました。

業務は、双葉山生誕100年などのモニュメントや記念碑、一般土木工事、文化財修復工事、都市環境石材や各種墓石設計施工など。努力の上さらなる一歩を踏み出し、「いいものを作ろう」という職人気質が、石を通じた文化の創造に貢献しています。



〒宇佐市江須賀1129  
☎ 0978-38-5213  
🕒 8:00~20:00  
🗓 年中無休 📍あり  
http://www.yhs-usa.jp/



学校法人  
学校法人 明佳学園・双葉ヶ丘幼稚園

## 豊かな自然の中でのびのびと 輝く瞳を育てたい



はじける笑顔でのびのびと踊る子どもたち

豊かな自然に囲まれて、木の香りがする園舎でのびのびと活動する園児たち。学校法人明佳学園は、幼児期の発達の連続性を体系的に反映するため、認定こども園として保育部:0歳児~2歳児(中津中央保育園)と幼稚園部:満3歳児~5歳児(双葉ヶ丘幼稚園)からなっています。

平成12年に新設された双葉ヶ丘幼稚園は、縦割り(異年齢)保育と横割り(同年齢)保育で編成。子ども自身の「意欲」を導き、「何事に対しても努力し、最後まで頑張る子ども」「話をきちんと聞け、よく考える子ども」が目標です。世界的な才能教育指導法(スズキ・メソッド)を取り入れ、バイオリン教室や英会話など、一人ひとりの感性と可能性を引き出す機会を設けています。人間にとって大切な幼児期にここで経験し、感じ、身に付けたことが、豊かな人生の基盤となっていくことでしょう。



〒中津市三光原口690-1  
☎ 0979-26-5855  
🕒 9:00~17:00  
🗓 土・日・祝日 📍あり  
http://futabagaoka.net/



塗装業  
株式会社 川田塗装

## 塗装で住宅を守る 向上心をもった方を大募集



塗装のプロフェッショナル集団「プロタイムズ」にも所属

公共施設を中心に、一般住宅の塗装・防水工事を行っている株式会社川田塗装。昭和42年に創業し、大銀ドームやダイハツ九州(株)の施工実績があります。

「人生最大の買い物である住宅を長く保つため、適正な知識と技術のもと適正な価格でご提供したい」と川田要社長。技術を磨く中、川田社長は3年間の中国生活で日本大使館の塗装なども手がけてきました。海外から日本を見ることで、日本の住宅が持つ課題に気付き、古民家鑑定士の資格を取得。「ゆくゆくは地元の空き家をメンテナンスし、UターンやIターンをする方の快適な田舎暮らしを応援したい」と夢をふくらませています。

全日本プロレスのプロモーターもしている川田社長は、「職人としての誇りとやりがいは、他の職業にはない醍醐味。ぜひ、男性の職人だけでなく、女性の職人でやる気のある方も一緒に仕事をしたい」とスタッフ採用にも前向きです。



〒宇佐市大字北宇佐1744-1  
☎ 0978-37-0526  
🕒 9:00~18:00  
🗓 土・日・祝日(盆期間、年末年始、ゴールデンウィーク)  
📍あり  
http://www.k-kawata.com/



水産物  
卸売業  
株式会社 高田魚市場

## 豊後高田の「台所」としての 「伝統」と「誇り」に新しい風



人気のハモシュウマイと昔から手作りの手打天

朝5時、威勢のいい掛け声が飛び交う高田魚市場。豊富なプランクトンに恵まれた豊前海で捕れた魚は味が濃く、年間約80種もの魚が水揚げされ市場に並びます。昭和3年に創立した株式会社高田魚市場は、戦前から地元の台所として地域を支えてきました。競りで取引された魚介類は、スーパーなどの店頭並び、寿司屋などの飲食店にも直接販売しています。

中でも高田魚市場の強みは、市場でありながら同時に工場を所有していることです。捕れた魚を、自社工場かまぼこなどの練り製品に加工し販売。近年、豊前市の「ひとの港 大平楽」で小売店も始めました。一番の目的は、地元で捕れた魚をもっと食べてもらいたいという思いからです。

桑原猛社長を中心に豊富な研修と勉強会を行うなど、人材育成に力を入れ、社員一人ひとりがアイデアを出し合い「強い会社づくり」に参加しています。



〒豊後高田市高田2247-1  
☎ 0978-24-3500  
🕒 8:00~17:00  
🗓 日曜 📍あり  
http://www.takadauoichiba.co.jp/



旅館業  
海浜旅庵 しおじ

## 海を望む眺望自慢の宿 元気な女将がお出迎え



宿から一望できる絶景

四季折々に花が咲き誇る、「花の岬」とも呼ばれる長崎鼻の近く。周防灘を望む高台に位置する「海浜旅庵しおじ」は、海までわずか徒歩3分。潮風が心地いい、開放感あふれるひとときを過ごせる宿です。

夏場の海水浴や磯遊び、年間を通じた釣りや貝拾い、ウォーキングなど、豊かな自然を目当てにファミリーやグループが訪れています。

お料理は、地物を中心とした四季折々の海鮮料理。中でも8月から11月にかけて旬を迎える岬ガザミ(渡りガニ)は、身が詰まって甘く、豪快な姿蒸しを堪能できるのは産地ならではの、併設する「そば処庵」では、前日までに予約をすれば豊後高田そばも味わえます。

一期一会の出会いを大切にする女将の「元気な笑顔」に会いたい、何度も訪れる常連客が絶えません。これからは、地元の特産品づくりもしていきたいと女将は意欲を燃やしています。



〒豊後高田市見目5708  
☎ 0978-54-3382  
🕒 チェックイン15:00~  
チェックアウト10:00  
🗓 年中無休 📍あり  
http://www.ryoan-shioji.jp/

